

葛飾区障害者施策推進計画・第7期葛飾区障害福祉計画・第3期葛飾区障害児福祉計画(素案)の  
 区民意見提出手続(パブリック・コメント手続)により提出された意見に対する区の考え方【子どもからの意見】

【取扱いの凡例】 ◎：計画(案)に意見を反映する ○：計画(素案)に盛り込まれている △：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする

No.	計画(素案)関連箇所	意見の要旨	取扱い	区の考え方
葛飾区障害者施策推進計画に関するもの				
1	54～56ページ 4 地域で支えあうまちづくり (1) 障害への理解と交流の促進	障害者への差別がなくなってほしい。	○	区では、小学生と保護者を対象とした普及啓発講座や、学校での手話体験、車いす体験等の体験講座、身体障害者補助犬の普及啓発などを通じて、障害の理解促進に取り組んでいます。これからも障害のある人もない人もお互いに理解し合い、差別のない社会の実現を目指していきます。
2	54～56ページ 4 地域で支えあうまちづくり (1) 障害への理解と交流の促進	障害児ばかりを優遇しないでほしい。	△	区では、障害のある人もない人もそれぞれの立場でお互いに理解し合い、差別のない社会の実現を目指しています。これからも普及啓発活動や障害のある人とない人の交流を通じて障害への理解を進めていきます。
3	58～60ページ 4 地域で支えあうまちづくり (3) ユニバーサルデザインのまちづくり	道を広くしてほしい。 (同様の意見は他に2件)	△	都市計画で決まっている場合は、計画的に広い道路を整備していきます。それ以外の道路はすぐに広げることは難しいですが、道に自転車や看板を置かないように呼びかけて、誰でも通りやすい道になるように今後も取り組んでいきます。

4	<p>58～60ページ</p> <p>4 地域で支えあうまちづくり (3) ユニバーサルデザインのまちづくり</p>	<p>障害者用の道を作してほしい。 (同様の意見は他に3件)</p>	△	<p>道路には、視覚に障害がある方を安全に誘導するために地面の表面に突起をつけたブロック（点字ブロック）を設置しています。</p> <p>点字ブロックは主に道路の交差点や施設の出入口に設置していますが、特に多くの方が利用する駅周辺や施設などが集まっている地区においては、駅や施設をつなぐように点字ブロックを連続的に設置するなど、街全体のバリアフリー化に引き続き取り組んでいきます。</p>
5	<p>58～60ページ</p> <p>4 地域で支えあうまちづくり (3) ユニバーサルデザインのまちづくり</p>	<p>障害者のためのエレベーター、トイレなど使いやすいものを増やし、階段に手すりやスロープをつけてほしい。 (同様の意見は他に5件)</p>	○	<p>施設の改築に当たっては、誰もが使いやすく利用しやすい施設づくりを目指すユニバーサルデザインの考え方を最大限取り入れ、エレベーターやバリアフリートイレのほか、階段の手すりや出入口スロープなどの整備を行います。また、大規模改修等の際には、施設の状況やスペースを考えて、改修を進めていくよう、いただいたご意見を踏まえて、さらに取り組んでいきます。</p>
6	<p>58～60ページ</p> <p>4 地域で支えあうまちづくり (3) ユニバーサルデザインのまちづくり</p>	<p>点字ブロックの上には何も置かないよう注意書きをしたり、点字ブロックを増やしてほしい。</p>	○	<p>点字ブロック上には、基準に従って一定間隔で「モノをおかないで！」といったシールを貼り付けていますが、自転車や看板などが置かれてしまっています。そのため、モノがおかれている状況に気づいた時には、モノをおかないように声をかけたり、モノを移動させるなど、私たちにできる心のバリアフリーも必要です。</p> <p>区としては、こうした呼びかけなどをしていくとともに、特に多くの方が利用する駅周辺や施設などが集まっている地区においては、駅や施設をつなぐように点字ブロックを連続的に設置するなど、街全体のバリアフリー化に引き続き取り組んでいきます。</p>

7	58～60ページ 4 地域で支えあうまちづくり (3) ユニバーサルデザインのまちづくり	信号機に目の不自由な方向けの合図を入れてほしい。	○	一部の信号機には、目の不自由な方が安全に横断できるように、歩行者用信号が青のタイミングで横断歩道の両端から音響（「ピヨピヨ」「カッコー」など）を鳴らして、誘導を行っています。特に多くの方が利用する駅周辺や施設などの状況、歩行者の通行状況なども踏まえて、今後も警察と連携しながら音響式信号機の設置に向けて、取り組んでいきます。
8	58～60ページ 4 地域で支えあうまちづくり (3) ユニバーサルデザインのまちづくり	水辺に目の不自由な方向けの柵をつけてほしい。	○	河川敷が広い江戸川や荒川は、川の手前に草や木があるため、簡単に川に行けないようになっています。また、河川敷が狭い中川や新中川などには、川に落ちないように転落防止の柵を設置し、安全対策をしています。区内には、多くの川が流れていることから、今後、目の不自由な方も含めて誰もが水辺と親しみながら安全に楽しむことができる場所には、必要に応じて柵をつけたいと考えております。
その他				
9	その他	サッカー場を作ってほしい。	△	区では、奥戸総合スポーツセンター陸上競技場、水元総合スポーツセンター多目的広場、東金町運動場多目的広場、にいじゅくみらい公園運動場多目的広場、上千葉公園運動場少年球技場、柴又球技場、荒川小菅球技場、四つ木橋球技場、木根川橋球技場の施設でサッカー利用が可能ですので、ぜひご利用ください。
10	その他	サッカーができる公園を作って欲しい。	△	サッカーができる公園を作るためには、大きな広場のある公園や河川敷にある公園など、他の公園利用者や公園の周辺に住んでいる方の迷惑にならないよう、十分な広さと住宅地から離れている場所が必要となりますので、このような場所を確保できましたら、検討していきます。

11	その他	道でたばこを吸ったり、ポイ捨てをしたりしないで欲しい。	△ 区では、「葛飾区きれいで清潔なまちをつくる条例」により、区内でのごみのポイ捨て・歩きタバコ、喫煙禁止区域でたばこを吸うことを禁止しています。皆さんに、このルールを守ってもらえるように、広報かつしかや区のホームページ、京成バスの車内放送などでお知らせしています。さらに、きれいで清潔なまちになるように対策をしていきます。
----	-----	-----------------------------	--